

リペアミックス J1

一般社団法人 コンクリートメンテナンス協会認定品
NEXCO断面修復(左官工法/吹付け工法)規格適合品

特長

- 1 亜硝酸リチウムの混和に対応
- 2 左官工法・吹付け工法が可能
- 3 早期の高強度発現性・低収縮性
- 4 粉末樹脂を配合した一材型PCM



基本物性

試験項目	試験方法	温度：20℃ (配合量55kg/1m ³)	
		未混入(清水のみ)	亜硝酸リチウム混入
混練水量	—	3.5kg/袋	2.1kg/袋
モルタルフロー (—)	JIS A 1171	144.5	144.0
モルタルスランプ (mm)	JIS A 1171	31	38
単位容積質量 (kg/L)	JIS A 1171	2.13	2.15
硬化時間 (時:分)	JIS A 1171	4:18	4:34
圧縮強度 (N/mm ²)	1日	22.0	26.2
	7日	48.7	48.8
	28日	56.3	60.6
静弾性係数 (kN/mm ²)	28日 JIS A 1149	21.2	26.0
接着強度 (N/mm ²)	28日 建研式	2.4	3.2
乾燥収縮 (%)	28日 JIS A 1129	-0.046	-0.049

※試験値は社内試験による測定例であり、保証値ではありません

NEXCO断面修復(左官工法) 亜硝酸リチウム55kg/m³配合 物性例

試験項目	試験方法	基準値	未混入(清水のみ)	亜硝酸リチウム混入
硬化時間	JIS R 5201	断面修復材の固化時間は1時間以上であること	4時間18分	4時間34分
断面修復材の外観	JIS A 6909	断面修復材は均一で、われ、はがれ、ふくれのないこと	われ、はがれ、ふくれは見られない	われ、はがれ、ふくれは見られない
硬化収縮性	JIS A 1129-3	断面修復材の硬化収縮率は0.05%以下であること、硬化に伴う発熱により反りかえりがないこと	0.04%反りかえりは見られない	0.049%反りかえりは見られない
熱膨張性	JIS K 6911	断面修復材の熱膨張係数は2.0×10 ⁻⁵ /℃以下であること	1.2×10 ⁻⁵ /℃	0.86×10 ⁻⁵ /℃
コンクリートとの付着性	JSCE K 561	コンクリートと断面修復材との付着強度は1.5N/mm ² 以上であること	湿潤時:2.2N/mm ² 温冷繰返し試験後:2.3N/mm ²	湿潤時:2.4N/mm ² 温冷繰返し試験後:3.7N/mm ²
圧縮強度	JIS R 5201	補修設計で定めた設計基準強度以上であること	61.6N/mm ²	60.6N/mm ²

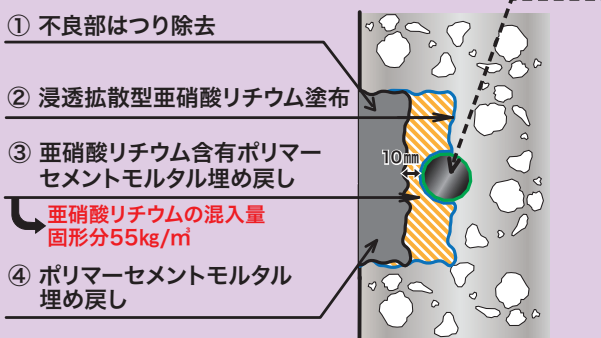
※試験例であり、保証値ではありません。

※リペアミックス J1 にプロコン40を混入した物性値です。

断面修復工法 施工仕様

補修方法：左官工法・湿式吹き付け工法による断面修復
断面修復材：(1層目)浸透拡散型亜硝酸リチウム含有
ポリマーセメントモルタル
(プロコン40+リペアミックスJ1)
(2層目)ポリマーセメントモルタル
(リペアミックスJ1)
鉄筋防錆剤：浸透拡散型亜硝酸リチウム(プロコン40)

施工概念図



標準配合

品名	通常使用		亜硝酸リチウム 55kg/m ³ 添加 (NEXCO設計要領 橋梁保全本 準拠)	
	1袋当り	1m ³ 当り	1袋当り	1m ³ 当り
リペアミックスJ1	25kg	1,850kg (74袋)	25kg	1,850kg (74袋)
RM-40S (LiNO ₂ 40%水溶液)	—	—	1.9kg	140kg (LiNO ₂ 56kg)
清水	3.4~4.0kg	252~296kg	2.1~2.8kg	163~207kg

※ 清水は施工環境や施工機械特性などに応じて、上記範囲内で調整してください。

※ 防錆剤(プロコン40)を使用する場合は事前に試験練りを行ってください。